

図書館通信



画：長田 清（登別美術協会）

令和3年
(2021年)

11



月号

第486号 (第40巻第7号)

豊かな時間を図書館で

【目次】

P 1	施設貸出のご紹介	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	アイヌ文献収集事業のご紹介	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

市内施設への団体貸出について

図書館では、登別市内の各施設に向けて本の団体貸出を行っています。

担当職員は、各施設からの「なぞなぞの本を多くしてほしい」「ひらがなだけの本を用意してほしい」などの要望に応えながら選書を行い、配送担当者が定期的に各施設を回り本の交換を行っています。市内多くの施設において団体貸出が行われており、様々な場所で図書館の本が活用されています。

【団体貸出利用施設】（令和3年9月現在）

<1か月ごとの交換>

●貸出冊数：20～50冊

・保育所・子育て支援関連・児童クラブ

合わせて10施設

<2か月ごとの交換>

●貸出冊数：200冊

・幼稚園・保育園

各1施設

●貸出冊数：20冊

・児童館

10施設



積み込み作業の様子

映画会

※会場はどちらも図書館3階会議室です。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

今月は6日です！（毎月第1土曜日に開催しています）

こども映画会 「藤城清治 影絵劇」（影絵アニメ 約39分）
10時30分～ ◎人気シリーズから「ブレーメンのおんがくたい」他を上映します。
※次回は「藤城清治 影絵劇」から「マッチ売りの少女」他を上映します！

名画鑑賞会 「プロフェッショナル 仕事の流儀」（43分+43分）
13時30分～ ◎NHKの人気番組から「文化財修理技術者 鈴木裕の仕事」
「歌舞伎役者 坂東玉三郎の仕事」の2本を上映します。
※次回も、今回と同じシリーズから「競馬調教師 藤澤和雄の仕事」
「パティシエ 杉野英実の仕事」の2作品を上映します！

おはなし会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

①えほんのへやのおはなしかい（絵本や紙芝居の読み聞かせ）

日時 11月13日（土） 14時より **※毎月第2土曜日**



②おはなしほけつと（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）

日時 11月27日（土） 13時30分より **※毎月第4土曜日**

イベント・講座

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

文化講演会「映画の始まりとは」

※定員 15名（当日先着順）

映画の機材はどの国で、誰が発明したのかという歴史から、撮影現場における撮影用語の解説など、映画にまつわる様々なお話を「登別映像機材博物館」館長山本 敏さんにご講演いただきます。ぜひご参加ください。

日時 11月3日（水）13時30分～15時

「映画・映像の本」

映画・映像の本の展示を行います。講演会と併せてぜひご覧ください。

場所 本館1階ロビー

期間 10月22日（金）～11月7日（日）



ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

「世界食糧デーに関する展示」

世界食糧デーとは、世界の食糧問題を考えるため国連によって制定された世界共通の国際デーです。毎年10月16日と定められており、パネル等を図書館で展示します。

期間：11月10日（水）～11月25日（木）

アイヌ関連資料のご案内

登別市では令和元年度から内閣府の「アイヌ政策推進交付金」により「アイヌ文献収集事業」に取り組んでいます。この事業では登別アイヌ協会の知見も頂きながら古書を中心に収集を進め、今までに『金田一京助全集』や『萱野茂のアイヌ神話集成』、金成マツの筆録をまとめた『アイヌ叙事詩ユーカラ集』などを購入しました。『アイヌ叙事詩ユーカラ集』は本館で既に所蔵していましたが、利便性の向上や資料保存の観点から新たに一揃いを購入したものです。



またデジタル分館でもアイヌ関連図書を積極的に受け入れしています。中でも『知里真志保著作集』は本館でも所蔵していますが、電子書籍で所蔵することにより図書館に来館せずとも様々な環境で利用が出来るようになりました。電子書籍では本文の拡大機能や、気になる項目にすぐにアクセスが出来る本文検索機能（本文内に含まれる文字を検索する）もあるため紙の資料にはない利点も備えています。



これまでの2年間で冊子・電子書籍合わせて404点の資料を購入しました。今後も様々なアイヌ文献の収集に努めてまいりますので、ぜひご活用ください。

*一部館内閲覧のみの資料もございます。詳しくは職員までお尋ねください。

配本所にアイヌ図書コーナーを設置しました

鷺別配本所・登別配本所のそれぞれにアイヌ図書コーナーを設置しました。

「アイヌ文献収集事業」によって購入したものや寄贈図書の内、知里幸恵・知里真志保など登別が輩出した人の関連資料や童話などを並べています。

アイヌ関連図書の多くは本館で所蔵していますが、今後も各配本所へ随時資料を追加していく予定です。



鷺別配本所・アイヌ図書



登別配本所・アイヌ図書

アーニス分館だより

アーニス分館では

- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ **新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。**



クリスマスガーランドをつくろう！

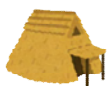


折り紙と色画用紙でオリジナルガーランドをつくりましょう。

- 日 時 11月27日(土) ①11時 ②14時 (各1時間)
- 場 所 アーニス2階 レンタルスペース
- 対 象 どなたでも(幼稚園児は保護者同伴で) 各回5組まで
- 参加費 無料
- 申込み 11月5日(金)午前10時~受付開始 申し込み締め切り12日(金)
電話かイベントチラシ裏申込書、WEBで ※応募多数の場合は抽選
- 問合せ・申込先 アーニス分館 81-2182

《新刊おすすめ紹介》

「北海道・北東北の縄文遺跡群を旅するガイド」



昭文社／発行



「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録が正式決定となりました。北海道・青森・岩手・秋田にある17の遺跡を、現地の学芸員や地元応援団と一緒に紹介しています。是非訪れたい遺跡周辺の見所やグルメ・お土産情報の紹介もあり、さらにはその遺跡や地域にかかわる楽しいコラムも付いています。

はるか昔に人々が暮らしていた場所は、今ではちょっと行きづらいところかもしれませんが、思いがけない眺めの良さが楽しめたりして、今でも旅してみたい場所です。

郷土史を知る、学ぶ、残す

登別駅ホームで弁当などの立ち売りを始めた第1号は、幌別に入植した片倉家の元家老 日野愛憲の次男、惇（まこと）のようだ。明治四十二年のこと。彼はそれまで、やはり元家老本沢直養の息子大節とともに故郷幌別を離れ、札幌で運送業を営んでいたという。

これを書いた惇の三女・助川徳子の自伝「寒菊」には、明治から大正、昭和にかけての登別に関わるさまざまな出来事が刻まれている。例えば、明治七年と思われる樽前山の噴火直前、地震が相次いでいると「原住民の人々が、何かを口々に叫びながら、器という器に水を汲んでいるのだそうです」と、祖父母らの目撃談を伝えている。やがて、大噴火が起きると「井戸といわず川といわず、一滴の水もなくなり」「その時に原住民の方々より水を恵んでもらった、あの時のうれしかったこと、今でも忘れられないと言っておられました」と述懐している。

こうした個人が記した地域史の内容は、当地方における郷土史家にとっては周知のことなのだろうが、私のような門外漢にとっては新鮮な発掘品ともなる。

例えば、片倉家家臣団の第一陣が幌別村に到着したのはいつか、という疑問。「登別町史」では本文で明治三年六月二十九日とあり、巻末年表では七月一日になっている。その後刊行された「市民参加・手づくり市史 ふるさと登別」では、大監察・佐藤誠の覚書に「七月朔日」の文字も見える。しかし、「奥州白石片倉家中流 佐野家家誌稿」では「(六月)二十九日室蘭の港についたときは、この北の地にはすでに秋風が立っていた」と記述されており、いまだ「どっち？」のままだ。

「へえ～」と唸った、もうひとつの言葉。アイヌの人々が海の漁に出た時、「ぶらぶら歩く」という話。

「それからシリカップ（メカジキ）探して歩くんだ。(略) 沖にいる間は、牛とか馬とか、陸の話は絶対されないんだ」と語るのは、カワウソと呼ばれたアイヌの漁名人・板久孫吉。

「なるほど、そしてシリカップを見つけるまでぶらぶら歩くんだな」

こう聞いているのは高名なアイヌ言語学者・知里真志保の義弟、佐藤三次郎。彼が残したアチックミュージアム彙報「北海道幌別漁村生活誌」の中の一文だ。

こうした郷土史関連書は、登別市立図書館ホームページの「市民活動サポーターおすすめ郷土資料」コーナーで紹介している。勉強を兼ねた一石二鳥の電子テキスト資料作りで、いずれ金鉱脈を掘り当てるかも。



… 時の流れ …

先日、新着図書の中にふと目が止まり思わず手に取ってしまった1冊がありました。

『写真アルバム 胆振・日高の昭和』A4サイズで280ページ、600枚もの写真が掲載されています。

セピアカラーの表紙に昔我が家にあった古いアルバムを思い出し、懐かしさと共に今は亡き両親が生きていた時代を見たいと思い早速持ち帰りました。

昭和16年ころから30年～50年頃まであり、戦時中の艦砲射撃で被災した日本製鉄や、勤労奉仕で至る所に造られた防空壕の中で避難している人々、室蘭に入港した連合艦隊の水兵たちが小型船舶やボートで上陸する様子など…。今私達が住んでいるこの場所に本当に戦争があったのだと、改めて思い知らされました。

また、現在と同じ場所での昔の賑わいの様子と今の状況などを比較しながら掲載されています。

大勢の人達が行き交う室蘭の中央町や浜町、人とすれ違う時にぶつからないように気を付けて歩いた事、昼間のように明るい照明やネオンと様々な店から流れてくる音楽や美味しそうな匂いと煙。

そしてお惣菜を買い求める人達で賑わう輪西の様子など…。それらの事が次々と思い返されて、セピア色だった記憶が一気に鮮やかによみがえり、確かにその場所に、その時代に生きていたのだと懐かしく思い出していました。

私も、戦時中、戦後のことは両親の話でしか知り得ませんでした。やはり実感が無く他人事のように、まるでニュースを見るような感覚で聞いていました。

しかし、自分が大人になり、様々な経験を経て年月が過ぎ、ふと過去を顧みた時そこには昔話でも、おとぎ話でもない紛れもない自分の姿がありました。

時間というものはどんな時も流れて行きます。

どんなに楽しく幸せな時も立ち止まってはくれません。

また、どんなに苦しく悲しくて辛い時もいつの間にか通り過ぎていくものです。

今、この瞬間もまたたくまに過去の事になって行ってしまいます。

今日は昨日ではないし、明日も今日と同じではない。

だからこそ、当たり前のように過ごしている今この時が、かけがえのない大切なものなのだ、心に深く感じました。

『写真アルバム 胆振・日高の昭和』

1枚1枚の写真が撮られた方々のその時の時代や状況、その思いなどを考えつつ表紙を閉じました。

裏返して見ると、室蘭の水族館の様子が写されていました。

(ここのつぶ焼きは美味しかったな) ふと香ばしい醤油の匂いがしたような気がしました。



『もっとおおきな たいほうを』 二見 正直／作 福音館書店／発行



なんと物騒なタイトルにポップな表紙のこの絵本。

大好物のピンクの魚を川向うのキツネが勝手に獲ったことに腹をたてた王様が、先祖代々より伝わるりっぱな大砲を打ったところから物語が始まります。大砲に驚いて遠くに逃げたキツネが押してきたものは、王様のものより大きな大砲でした。王様はあわててお城に戻り、キツネより大きな大砲を作らせて川に持っていくと、逃げ出したキツネはもっと大きな大砲を押して戻ってきます。

争いは徐々にエスカレートしていき、王様はたくさんの家来と時間を使ってより大きな大砲を次々に作らせますが、大きさではかなわないと悟ると数や見た目、形のおもしろさで勝負に挑みます。しかし、悉く負けてしまう王様が最後にたどりついたのは、持ち運びの便利な軽い大砲。さて、勝負はいかに？

5か国語に翻訳されているデビュー作にして代表作であるこの作品は、リノベーション(?)した大砲のお風呂に入っている最後のページが印象的で、ユーモアと示唆に富んだ作品といえます。そういえば、なぜ王様は大砲を打ったのでしょうか？

「この大砲がお気に入りです 打ちたくてしかたなかったのですが」

戦争がなかったのに 打てなかったから」

戦争のはじまる理由は、案外このようなものなのかも知れません。

デジタル分館資料紹介

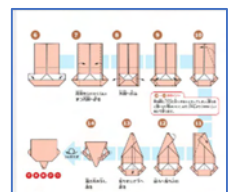
『いしばしなおこのきせかえ折り紙あそび』

いしばし なおこ／著 ブティック社／発行

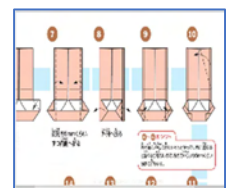


新型コロナ感染がなかなか収束しない中、家の中で楽しむ人が多くなっていると聞きますが、電子書籍を読むのも一考ですね。

そこで、家族で楽しむことができる折り紙の本などは、いかがでしょうか？ 電子書籍は、ページをペーパーウェイトなどで押さえなくてもページを固定でき、細かな説明分が「ハズロー



ズーム!



ペ”をかけなくても拡大して見られるところが、実感として便利でした。

(→ 右図を参照ください) また、「きせかえ折り紙」なので、うまく折れた暁には、いろいろ組み合わせて遊ぶことができるので、まさに一石二鳥の楽しさです。

他に折り紙の本としては、「マンガでよくわかるオリガミナビ！」のシリーズがあり、おりがみの精なるキャラクター「ガミ」がコウタとエミに折り紙のスパルタ教育を行うというストーリー仕立てになっているので、折り紙だけではなく、漫画としても楽しめそうですよ。また、難易度や用意する折り紙のサイズや枚数なども明記されている親切設計となっています。

ぜひ、ご家族で試してみたいかがですか？

新着図書案内 令和3年11月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		● 札幌を開府した島義勇解任と梟首の謎	河原崎 暢
14歳からのプログラミング	千葉 滋	● 「知の巨人」立花隆のすべて	文藝春秋
名著のツボ 賢人たちが推す！最強ブックガイド	石井 千湖	お一人さま逃亡温泉	加藤 亜由子
小さな声、光る棚 新刊書店Titleの日常	辻山 良雄	日本の遺構 地図から消えた歴史の爪跡	なるほど知図帳 編集部
世にも奇妙な博物館 未知と出会う55スポット	丹治 俊樹	● しっぽのある温泉	館浦 あざらし
言論統制というビジネス 新聞社史から消された「戦争」	里見 脩	アメリカのありふれた町で	東 理夫
自壊するメディア	望月 衣塑子 五百旗頭 幸男	3 政治・経済・社会・教育	
胡適文選 1	胡 適	なぜ日本は中国のカモなのか	石 平 李 相哲
● 博物館の世界	栗原 祐司	日本を前に進める	河野 太郎
1 哲学・宗教		世論調査の真実	鈴木 督久
陰陽師の解剖図鑑	川合 章子	百合子とたか子 女性政治リーダーの運命	岩本 美砂子
不安と折り合いをつけてうまいこと 老いる生き方	中村 恒子 奥田 弘美	墜落 「官邸一強支配」はなぜ崩れたのか	森 功
対訳武士道	新渡戸 稲造	従順さのどこがいけないのか	将基面 貴巳
神社語辞典	本村 のり子	アイヌ通史 「蝦夷」から先住民族へ	リチャード・シドル
おうちで禅	花岡 博芳	北方領土交渉史	鈴木 美勝
2 歴史・地理		私たちはなぜこんなに貧しくなったのか	荻原 博子
分裂と統合で読む日本中世史	谷口 雄太	地図とデータで見る 人口の世界ハンドブック	ジル・ピゾン
つわものの賦	永井 路子	ファッションの仕事で世界を変える	白木 夏子
● 世界遺産北の縄文	北海道新聞社	銭躍る東シナ海 貨幣と贅沢の一五～一六世紀	大田 由紀夫
日韓併合の収支決算報告	青山 誠	為替のしくみがこれ1冊で しっかりわかる教科書	尾河 眞樹監修
ハイジャック犯をたずねて スリランカの英雄たち	和田 朋之	こんなときどうする？どうなる？Q&A 3つのNISA徹底活用術	竹川 美奈子
一冊でわかるトルコ史	関 眞興	債券のしくみがこれ1冊で しっかりわかる教科書	土屋 剛俊監修
ユーゴスラヴィア現代史	柴 宜弘	フェイクニュースの生態系	藤代 裕之
世界大富豪列伝 19-20世紀篇・20-21世紀篇	福田 和也	東京23区×格差と階級	橋本 健二
半藤一利 歴史とともに生きる	平凡社	朝鮮人「徴用工」問題を解きほぐす	木村 嘉代子
アンゲラ・メルケル 東ドイツの物理学者がヨーロッパの母になるまで	マリオン・ヴァン・ ランテルゲム	● 喰うか喰われるか 私の山口組体験	溝口 敦
北海道の鉄道開拓者 鉄道技師・大村卓一の功績	高津 俊司	盗撮をやめられない男たち	斉藤 章佳
双翼の日の丸エンジニア	戸津井 康之	おうち避難のためのマンガ防災図鑑	草野 かおる
世界のすごい巨像	地球の歩き方編集部	親の介護は知らなきゃバカ見ることだらけ	鳥居 りんこ
世界のすごい城と宮殿333		道路を渡れない老人たち	神戸 利文 上村 理絵
世界197カ国のふしぎな聖地& パワースポット		● 娘の遺体は凍っていた 旭川女子中学生イジメ凍死事件	文春オンライン 特集班
戦争とバスタオル	安田 浩一 金井 真紀	学校の役割ってなんだろう	中澤 渉
バンティング インスリンの発見による栄光と苦悩の生涯	マイケル・ブリス	著作権ハンドブック	宮武 久佳 大塚 大

新 着 図 書 案 内 令和3年11月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
農学部 中高生のための学部選びガイド	佐藤 成美	そのふるえ・イップス心因性ではありません	平 孝臣 堀澤 士朗
アメリカンビレッジの夜 基地の町・沖縄に生きる女たち	アケミ・ジョンソン	腰痛ひざ痛が消えるつま先の使い方	岡田 慎一郎
日本の私立大学はなぜ生き残るのか 人口減少社会と同族経営：1992-2030	ジェレミー・ブレードン/ ロジャー・グットマン	ちょっとしたことでうまくいく 発達障害の女性が上手に生きるための本	沢口 千寛
食で読むヨーロッパ史2500年	遠藤 雅司	手指の痛み・しびれ・はれ・変形 自力でよくなる！ 名医が教える最新1分体操大全	文響社
女人禁制の人類学 相撲・穢れ・ジェンダー	鈴木 正崇	7つの処方箋で目がよくなって 超健康になる！	今野 清志
ヌシ 神か妖怪か	伊藤 龍平	人生100年時代 歯を長持ちさせる鉄則(ルール)	魚田 真弘
世界のふしぎなことわざ図鑑	北村 孝一	医師が教える新型コロナワクチンの正体	内海 聡
免疫力アップレシピ	今泉 マユ子	海をわたった母子手帳	中村 安秀
学校ってなんだ！ 日本の教育はなぜ息苦しいのか	工藤 勇一 鴻上 尚史	法医学者の使命	吉田 謙一
校則を考える 歴史・現状・国際比較	大津 尚志	サウナのトリセツ	小林 弘幸
アイヌの世界に生きる	茅辺 かのう	オートミール健康レシピ	植草 真奈美 ほか監修
世界の奇習と奇祭	E. リード・ロス	ジェネリック医薬品の不都合な真実	キャサリン・イーバン
遊牧の人類史	松原 正毅	漢方薬 知っておきたい漢方薬63× 基礎知識×やさしい養生生活のコツ	櫻井 大典監修
いれずみ〈文身〉の人類学	吉岡 郁夫	心とからだの倫理学	佐藤 岳
世界のグルメ図鑑	地球の歩き方編集室	●うちのネコ、ボクの目玉を食べちゃうの？	ケイトリン・ドーティ
●鷹将軍と鶴の味噌汁	菅 豊	フライトナースの秘密	菱沼 秀一
鬼と異形の民俗学	飯倉 義之監修	潰瘍性大腸炎・クローン病の今すぐ使 える安心レシピ	宮崎 拓郎ほか
アイルランド妖精物語	高畑 吉男	オンナたちの甲状腺	山内 泰介
すべてが武器になる	石川 明人	70歳からのゆる〜い筋トレ&ストレッチ	山口 晃二
4 自然科学・医学		依存症がわかる本	松本 俊彦監修
これってどうなの？日常と科学の間にあるモヤ モヤを解消する本	かきもち	朝までぐっすり！ 夜中のトイレに起きない方法	平澤 精一
マンガ一晩でわかる中学数学	端野 洋子	アトピー 皮膚とアレルギーの名医が 教える最高の治し方大全	文響社
元素創造 93~118番元素をつくった科学者たち	キット・チャップマン	食べる時間でこんなに変わる時間栄養学入門	柴田 重信
地球科学者と巡るジオパーク日本列島	神沼 克伊	カラダに効く！タンパク質まるわかりBOOK	藤田 聡監修
図解・天気予報入門	古川 武彦 大木 勇人	ねこ背は10秒で治せる！	小林 篤史
雷の疑問56	鴨川 仁共	子育て整体	井本 邦昭
最近、地球が暑くてクマってます。	水野 敬也 長沼 直樹	5 技術・工業・家事	
●恐竜学者は止まらない！	田中 康平	これってホントにエコなの？	ジョージナ・ ウィルソン＝パウエル
ゾウの鼻ウサギの耳	小宮 輝之	新編日本の城	中井 均
〈図説〉老いと健康の文化史	リナ・ノエフ	緑と住む。	エクスナレッジ
●ヒトはなぜ「がん」になるのか	キャット・アーニー	昭和SLグラフィティ 北海道編 上	對馬 好一 橋本 一朗
図解いちばんわかりやすい強迫性障害	原井 宏明監修	きちんと知りたい！電気自動車用 パワーユニットの必須知識	高根 英幸
世界を大きく変えた20のワクチン	齋藤 勝裕	YouTuberの教科書	大須賀 淳監修

新着図書案内 令和3年11月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
5 技術・工業・家事		● ころろが整う台所	高木 ゑみ
Zoom120%活用術	Zoomビジネス研究会	まるごとレモン ベストレシピBOOK	河井 美歩
タグボートのしごと	日本港湾タグ事業協会監修 地曳 いく子 榎村 さとる	6 産業・商業	
+60からのHappyおしゃれBOOK	高橋 恵美子	フードコーディネーターの仕事	久保木 薫
イチから基礎がよくわかる手ぬいの基本レッスン	高橋 恵美子	● 年34日だけの洋品店	井形 慶子
ゆび編みのかわいい小物	minao	タクシー業界サバイバル	栗田 シメイ
初心者のためのパッチワークバッグレシピ	大畑 美佳	今すぐ使えるかんたんぜったいできます！ スマートフォン超入門	リンクアップ
かわいいパッチワークとキルト	グラフィック社編集部	バス趣味入門	加藤 佳一
ディズニーフェルトマスコット	佐々木 公子	いまこそ使いたい時刻表活用術	木村 嘉男
フェルトのかわいいごっこ遊び	ブティック社	日本ローカル放送史	樋口 喜昭
簡単！冷凍おかずパック	ろこ	7 芸術・スポーツ	
味・香り「こつ」の科学	川崎 寛也	かんたんかわいいちぎり絵BOOK	ウメチギリ
365日あなたを支える！究極のお助けごはん	角川春樹事務所	● 世界ピクト図鑑	児山 啓一
食堂あさごはんのレシピ	中井 エリカ	魂を撮ろう ユージン・スミスとアイリーンの水俣	石井 妙子
はじめての電気圧力鍋	みない きぬこ	戦争・記憶 沖縄戦と集団自決	亀山 亮
ヤせる満腹系ごはん	石原 彩乃	● 目の見えない白鳥さんとアートを見に行く	川内 有緒
塩ひとつまみそれだけでおいしく	荻野 恭子	ぼくは独り暮らしの老人の家に弁当を運ぶ	福島 あつし
● 80歳、村上祥子さんの元気の秘訣は超かんたんレンチンごはんだった！	村上 祥子	牛乳パックで作る暮らしの中の小物	ブティック社
世界一美味しい「プロの手抜き和食」安部ごはんベスト102レシピ	安部 司	東京オリンピック2020輝きの記憶。	文藝春秋
まいにちの漬け物	ませき じゅんこ	彼方への挑戦	松山 英樹
サラダのアイデア帖	小竹 貴子	● 藤井聡太論	谷川 浩司
ポリ袋でつくるたかこさんのタルト・パイ・フロランタン	稲田 多佳子	全国85劇場ミニシアターのある街へ。	JTBパブリッシング
一人飲みで生きていく	稲垣 えみ子	江戸のいろいろと 落語で知る男と女	稲田 和浩
● 1か月に1回物を動かせば家はキレイになる	新津 春子	東京2020オリンピック公式プログラム	KADOKAWA
● 大人の片づけ	一田 憲子	東京2020パラリンピック公式プログラム	
白飯サラダ	今井 亮	ピラティス大全 92エクササイズ収録！	菅原 順二監修
うちで作るチャーハンがウマイ！	佐藤 樹里	子どもはできても大人はできない！？ まちがいがさし	北村 良子監修
脱炭素革命への挑戦	堅達 京子 NHK取材班	8 言語	
簡単にはじめる手作り燻製	燻製道士	ボケない大人のはきはき滑舌ドリル	花形 一実
アルミホイル・ソロキャンレシピ	佐藤 一博	国語をめぐる冒険	渡部 泰明ほか
ほんとうにおいしい生地で作るドーナツレシピ77	佐藤 ひろ子	日本語をもっとつかまえろ！	飯間 浩明
自分で名付ける	松田 青子	カムカムエヴリバディ 平川唯一と「ラジオ英語会話」の時代	平川 洵
がんばりすぎない離乳食	伊東 優子監修	どうぶつ英語フレーズ大集合！	河本 望

新 着 図 書 案 内 令和3年11月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		アフター・サイレンス	本多 孝好
● 邯鄲の島遥かなり 上	貫井 徳郎	果ての海	花房 観音
フィッシュボーン	生馬 直樹	おまえなんかに会いたくない	乾 ルカ
● 嗚う淑女二人	中山 七里	ガラスの海を渡る舟	寺地 はるな
● 透明な螺旋(ガリレオ10)	東野 圭吾	伊豆箱根殺人回廊	西村 京太郎
翡翠色の海へうたう	深沢 潮	派遣社員あすみの家計簿 2	青木 祐子
コロナ狂騒録(田口・白鳥シリーズ)	海堂 尊	執行	深谷 忠記
女王の日と雨鬼の国(魔界都市ゴデス 2)	菊地 秀行	幻想童話名作選	泉 鏡花ほか
出版禁止 いやしの村滞在記	長江 俊和	スカートのアンスロジー	朝倉 かすみほか
バイオハッカーQの追跡	那藤 功一	絶滅のアンスロジー	王谷 晶ほか
天路	リービ英雄	ふしぎ	西條 奈加ほか
炎上フェニックス (池袋ウエストゲートパーク 17)	石田 衣良	● みとりねこ	有川 ひろ
共犯者	三羽 省吾	バスクル新宿	大崎 梢
● ばにらさま	山本 文緒	● やさしい猫	中島 京子
月曜日の抹茶カフェ	青山 美智子	ヴァイタル・サイン	南 杏子
● さよならも言えないうちに	川口 俊和	黄昏公園におかえり	藍澤 李色
恋する昭和 芝木好子アンスロジー	芝木 好子	十三階の母(マリア)	吉川 英梨
夜ごとの才女	赤川 次郎	わらべうた	宮部 みゆきほか
存在しない時間の中で	山田 宗樹	9 その他の文学	
あきない世傳金と銀11 風待ち篇	高田 郁著	● 家族のようなあなたへ 橋田壽賀子さんと歩んだ60年	石井 ふく子
万事オーライ 別府温泉を日本一にした男	植松 三十里	● 「おばけ」と「ことば」のあやしいはなし	京極 夏彦
とにもかくにもごはん	小野寺 史宜	シルバー川柳 11	全国有料 老人ホーム協会
人類最初の殺人	上田 未来	ベスト・エッセイ 2021	日本文藝家協会
機龍警察白骨街道	月村 了衛	沈黙のちから	若松 英輔
川のほとりで羽化するぼくら	彩瀬 まる	みらいめがね2 苦手科目は「人生」です	荻上 チキ ヨシタケ シンス
幻月と探偵	伊吹 亜門	更年期障害だと思ってたら重病だった話	村井 理子
アイスクライシス	笹本 稜平	謎ときサリンジャー 「自殺」したのは誰なのか	竹内 康浩 朴 舜起
聖刻	堂場 瞬一	地上で僕らはつかの間きらめく	オーシャン・ヴオン
さみだれ	矢野 隆	TOKYO REDUX 下山迷宮	デイヴィッド・ピース
● オーラの発表会	綿矢 りさ	● うそをつく子 助けを求められなかった少女の物語	トリイ・ヘイデン
転がる検事に苔むさず	直島 翔	夜ふけに読みたい植物たちのグリム童話	グリム兄弟
はなの味ごよみ9 蛍の約束	高田 在子	身内のよんどころない事情により	ペーター・テリン
楽園のアダム	周木 律	● 清少納言を求めて、 フィンランドから京都へ	ミア・カンキマキ

図書整理日

毎月最終金曜日は図書整理日です。本館・アーニス分館共に休館し、館内の整理を行っています。戻って来た本を棚に戻す排架の他、職員全体での連絡会議、市内施設への団体貸出の配送、家具の配置変更や閉架書庫の整理などを図書整理日に行っています。また鷺別配本所・登別配本所の本の入れ替え作業を定期的に行い、各配本所の排架の見直しを行っています。開館中では行えない業務を休館日に行うことで、より快適な図書館になるよう取り組んでいます。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



登別市立図書館

図書館カレンダー 令和3年(2021年) 11月

日	月	火	水	木	金	土
	1 本館休館	2	3 文化の日 本館特別開館 文化講演会	4 ブックスタート 分館休館	5	6 映画会
7	8 本館休館	9	10	11 分館休館	12	13 えほんのへやのおはなし会
14	15 本館休館	16	17	18 分館休館	19	20
21	22 本館休館	23 勤労感謝の日 本館休館	24 ライブライリー スタート おはなし会	25 分館休館	26 図書整理日 本館休館 分館休館	27 分館イベント おはなしほけつと
28	29 本館休館	30	12/1	12/2 分館休館	12/3	12/4 映画会

図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	85-4324
休館日	月曜日・祝日・年末年始 毎月最終金曜日	木曜日・年末年始 毎月最終金曜日	年末年始のみ		日曜日・月曜日・ 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	巡回表のとおり